

はっぴーデイサービスセンター ★人気活動ランキング★

あそびにきておごやえ

白光園 デイサービスセンター ★人気活動ランキング★

①位 風せんパレー



ネットをはさんで同じ位の人数に分かれる。イスに座ったままで、相手コートに何回目で返しても良い。一人で何回触れてもよいが、ダブルタッチはだめ。足にぶつかった上がった風せんもよし。風せんが床に落ちたら、得点が入る。チームで作戦を考えながら楽しむゲーム。

②位 ストラックアウト



不用になった障子窓を使用し、窓部分にダンボールで作った得点板を取り付ける。3メートル離れた所からお手玉を投げ、得点板が後ろに倒れた点が、点数となるゲーム。

③位 フラワーアレンジメント (趣味の部屋から)



プラスチックのコップを半分に切った容器に水を含ませた吸水性フォームを入れ、野の花や自宅より持ち寄った花を好きなように挿して、きれいに生けてもらう。

笑顔がいちばん



私は、平成14年12月末、突然仕事中に具合が悪くなり、救急車で白鳳病院に運ばれ入院。脳卒中の治療後3月7日に退院しました。左半身が不自由になりひとりで風呂に入る事ができず、色々話を聞いていたうちに、はっぴーデイサービスセンターがあることを聞いてお世話になっております。朝夕の送迎、また所長さん始め職員の方の手厚い介護で、私一人ひとりの手となり足となり介護して下さる皆様から親切にして頂き、涙が出るほどの思いです。家内一同、心から感謝いたしております。私の人生の生きがいであり、その日その日を楽しみ、過ごしております。今後とも何卒宜しくお願い致します。

(佐藤守吉さん)

はっぴーデイサービスセンターを利用するようになってから、歩けなかった私は職員の皆様の皆様のお陰で歩けるようになり、感謝に堪えないと思います。ここに来るのが本当に楽しみです。これからも職員の皆様、いろいろと楽しませて下さい。

(井上みつさん)



3ヶ月の病院生活から退院。家族の介護を受けて居りましたが、病と足の不自由に落ち込んでおった時、町の福祉からデイサービスの話がきて、不意ながら白光園のデイサービスに参加。その後、はっぴーに移転。職員の手厚い介護、催し物、ゲーム等の楽しさ。又参加者との会話の中から、今迄知らずだったことで教わる事が多くなり、この先の生きる望みが満ちます。これからも参加を続けていきたいと思っております。

(児玉英次さん)



4月から
新メンバーに
なり、頑張ります。

はっぴーデイサービスセンター
所長 遠藤れい子

はっぴーデイサービスセンター！在宅介護支援センターは開設して一年が経過しました。これもひとえに利用者の皆様、山形県白鳳町、各介護支援事業所の介護支援専門員の方々や、その他の関係機関のご協力のおかげであり、心より感謝申し上げます。建物も全体がバリアフリーで、しかも設備、備品も最新の優れた物を設置し、安心、安全、快適な気分でお過ごしいただけるように、福祉の使命に基づいて努力してまいりました。また、介護保険制度下で適正な経営を図るため、平成15年1月4日より4名の定員増(一般型25名、痴呆型7名)全体で32名の利用定員を実施したことで、大変多くの方々からご利用いただけるようになりました。「通所日を持ち望んでいただける施設」をモットーに全職種の職員が一丸となり、日々研鑽を積み重ねては参りましたが、なによりも、利用者の方々に施設と職員を育てていただいたように思います。利用されたことで、心がなごみ、新たな希望と生きる力が湧き上がるように支援できたらと、今後も新しい知恵を出し合い、創意工夫に努力を積み重ねたい所存です。今年度もより幸せを感じていただけるような、身近な通所施設として、さらに発展して行きますよう、関係機関、利用者の方々の限りないご支援ご指導をお願い申し上げます。

★人気活動ランキング★

①位 風船送りゲーム



「ほれ、ほれ、ちゃんと私のとこさよごしてな。んだげんど、うちわで返すのは、ながなが、コツいるね。」
ルール：うちわで下に落とさないように、向かい合った人や隣の人に風船を渡すゲーム。

②位 的当てゲーム



「それ、どうだ、横綱と大関と関脇、全部さ、くつついだぞ。おもちゃえゲームだね。」
ルール：マジックボールを的に向かって投げ、ボールのついたところの合計点で競うゲーム。

③位 (桜回廊)ドライブ



「やっぱり、みんなで行く花見はおもしろいね。」

★人気スポットランキング★

①位 つつじ公園



「本当に花はいいね。心が休まるよ。」



②位 あゆ茶屋

「私、車乗り大好きなよ。やっぱり、こういうとこさつれてきてもらうと、気分爽快になってうれしいなよ。」

(佐藤栄治さん)

③位 スピカ



「ほう、珍しいものだこと、買ってみっかな。」
(安部みつさん)



白光園デイサービスセンター
所長 小関 忠蔵
昨年度は、デイサービスセンターが2施設となり利用者減の心配をしておりましたが、利用者の方々から多数のご希望と各関係機関の御協力が有り、ました事に心から感謝を申し上げます。
介護保険制度が見直され介護報酬が大幅な引き下げとなった今年度の課題は、限られた利用定員数の中でいかに多くの方々に利用して頂くかということ。それには、福祉の原点である「利用者の幸せ」を職員一人ひとりがしっかりと捉えていく事が大切だと考えております。在宅福祉サービスの充実にも更なる技術の向上を目指し、いかに利用者から満足して頂けるかを追求し、利用者個々の幸せに少しでもお役に立てればと考えるところで、強力なチームプレイで明るく笑いの絶えないサービスに努めさせて頂く所存で有りますので、今後共、より一層の御利用を職員一同心よりお待ちしております。